平成２６年度　加東市滝野庁舎空調設備改修工事　　　実施設計書

工　事　番　号	加企企第23号
工　事　場　所	加東市　　下滝野　　地内
工　　　　　種	機械設備工事

兵庫県 加東市

内　　　　　訳				
	実　　施	今回変更	増　　額	
設計額	円	円	円	
請負額	円	円	円	
	請負		日　数	平成27年 3月25日まで

概　　　　要
滝野庁舎１F　災害対策室
エアコン設置　２台

（起工又は変更理由）

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	加企企第23号	平成２６年度　加東市滝野庁舎空調設備改修工事					
A	建築工事		1.0	式			
B	電気設備工事		1.0	式			
C	機械設備工事		1.0	式			
D	撤去・処分工事		1.0	式			
	直接工事費計						
E	共通仮設費		1.0	式			
F	現場管理費		1.0	式			
G	一般管理費		1.0	式			
	計						
H	消費税相当額		1.0	式			
	工事費計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A	建築工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	内装工事		1.0	式			
3	外構基礎工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　　考
1	直接仮設工事						
	内部脚立足場	並列　H＝1.8　1ヶ月	18.0	㎡			
	養生	仕上げ	30.0	㎡			
	清掃・片付け	竣工	30.0	㎡			
	計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2	内装工事						
	天井：岩綿吸音板	厚12.0 ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5捨張共	1.6	㎡			
	天井：化粧ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ	厚9.5	10.0	㎡			
	塩ビ製廻り縁		10.0	m			
	屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19型＠360　下地張あり	1.6	㎡			
	屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19型＠300　直張り用	10.0	㎡			
	屋内軽量鉄骨 天井下地開口補強	野縁19型　640×1245	1.0	ヵ所			
	屋内軽量鉄骨 天井下地開口補強	野縁19型　840×840	1.0	ヵ所			
	天井仕上　補修	既設天井材再取付 910×455	1.0	ヵ所			
	照明スイッチ 移設	ｽｲｯﾁBOX移設、結線替え ﾓｰﾙ一部撤去	1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
3	外構基礎工事						
	根切り　人力	つぼ堀	0.7	m3			
	埋戻し　人力	発生土	0.3	m3			
	発生土処理	場内敷きならし	0.4	m3			
	砕石地業（再生材）	土間下	0.2	m3			
	溶接金網敷き	φ6-150×150 敷込共	3.3	㎡			
	土間コンクリート	FC18-15	0.5	m3			
	土間コンクリート打手間	カート打ち	0.5	m3			
	コンクリート天端直押エ		1.7	㎡			
	普通型枠	基礎・運搬込	1.6	㎡			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
Ｂ	電気設備工事						
1	空調・動力設備工事						
	ﾈｼﾞﾅｼ電線管	EP31mm　　　　　〈露出〉	4.4	m			
	厚鋼電線管	GP28mm　　　　　〈露出〉	4.4	m			
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 鋼製 錆止め 端子無し	150×150×100mm	1.0	ヶ			
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ ｽﾃﾝﾚｽ製 完全防水	150×150×100mm	1.0	ヶ			
	架橋PE絶縁耐燃性PEｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ	600V EM-CE 5.5烁-3C 〈ｺﾛｶﾞｼ〉	23.0	m			
	〃	600V EM-CE 8烁-4C 〈ｺﾛｶﾞｼ〉	25.0	m			
	漏電ﾌﾞﾚｰｶｰ	ELCB 2P2E 30AF/15AT	1.0	個			
	〃	ELCB 3P3E 50AF/40AT	1.0	個			
	丸型用貫通処理工事(壁・床共用)	径100	3.0	ヶ所			
	斫り工事	ｺﾝｸﾘｰﾄ壁75mm×厚さ200mm程度	3.0	ヶ所			
	塗装工費		1.0	式			
	計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　　　量	単位	単　価	金　額	備　　　考
C	機械設備工事						
1	機器設備工事		1.0	式			
2	配管設備工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
1	機器設備工事						
	空冷ﾋｰﾄポンプ　ビル用室外機	冷房/暖房　22.4/25.0ｋｗ	1.0	組			
	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ　室内機	2方向天井カセット 7.0/8.0ｋｗ	1.0	組			
	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ　室内機	4方向天井カセット 8.0/9.0ｋｗ	1.0	組			
	機器搬入据付工事		1.0	式			
	既設機器撤去工事	既設FC8、10	1.0	式			
	計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2	配管設備工事						
	冷媒用保温付銅管	屋内一般9.5φ　10mm	58.1	m			
	冷媒用保温付銅管	屋内一般15.9φ　20mm	35.5	m			
	冷媒用保温付銅管	屋内一般19.1φ　20mm	12.1	m			
	冷媒用保温付銅管	屋外露出9.5φ　10mm	17.0	m			
	冷媒用保温付銅管	屋外露出19.1φ　20mm	17.0	m			
	硬質塩化ビニル管	屋内一般　ＶＰ25	8.2	m			
	渡り配線工事		1.0	式			
	リモコン配線工事		1.0	式			
	保温工事		1.0	式			
	貫通工事	100φ	3.0	ヶ所			
	計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
D	撤去・処分工事						
	天井：カッター切	ボード類	34.5	m			
	天井：岩綿吸音板厚12.0　撤去	下張りPB厚9.0共	1.6	㎡			
	天井：岩綿吸音板　撤去	厚9.0	4.8	㎡			
	天井：化粧ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄ　撤去	厚9.0	14.3	㎡			
	塩ビ廻縁　撤去		24.9	m			
	軽鉄天井下地　撤去		20.7	㎡			
	中木　撤去	抜根共	1.0	本			
	低木　撤去	抜根共	3.0	本			
	＜発生材　積込・運搬費＞						
	鉄くず類		0.1	m3			
	ボード類		0.2	m3			
	＜発生材処分費＞						
	鉄くず類		45.2	kg			
	ボード類		31.1	kg			
	計						

加東市滝野庁舎空調設備改修工事

図面リスト

No.	SCALE	図　面　名	No.	SCALE	図　面　名	No.	SCALE	図　面　名
A － 01	——	改修建築工事特記仕様書（１）	E － 01	——	電気設備　特記仕様書	M － 01	——	機械設備　特記仕様書
A － 02	——	改修建築工事特記仕様書（２）	E － 02	——	分電盤図計画書	M － 02	——	冷暖房設備工事　系統図　機器一覧表
A － 03	——	配置図	E － 03	1:150	空調・動力設備　１階平面図	M － 03	1:100	１階平面図(冷暖房設備工事)
A － 04	1:700	１階平面図＜改修前後＞				M － 04		冷暖房設備工事　撤去機器一覧表
A － 05	1:150	１階天井伏図＜改修前＞				M － 05	——	冷暖房設備工事　撤去系統図
A － 06	1:150	１階天井伏図＜改修後＞				M － 06	——	冷暖房設備　撤去平面図

加東市滝野庁舎空調設備　改修工事設計図

仕 様 書

Ⅰ 工事概要

1．工事場所　加東市 下滝野　地内

2．敷地面積　—

3．工事種目　建築改修工事
電気設備改修工事
機械設備改修工事

4．工事内容　改修工事
※騒音、振動を伴う作業については、施主に了解を受けて作業を行うこと。
※庁舎使用者及び庁舎来庁者などに配慮して工事を行うこと。
※工事着手前に、庁舎使用者に工事説明を十分に行うこと。

Ⅱ 建築改修工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「改修標仕」という。）による。また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）による。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に　(印)の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、(・)印の付いたものを適用する。
(・)印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
(・)印と(※)印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（5）G印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

3．提出書類等

本工事の施工にあたり、下記に定める図書等（番号に○印を付したもの）を工事監理者に提出して承認を受けるものとする。工事監理者は下記に定めるもののほか、必要な図書等の提出と承認を求めることがある。

番号	提出書類	期　限	部　数	備　考
1	工事請負契約書写	契約時	2　部	
②	工程表	契約後	2　部	
③	請負代金内訳書	契約後　　１０日以内	1　部	
④	損害保険契約書 及び保険証写	契約後　　１０日以内	1　部	
⑤	現場代理人、監理技術者、 主任技術者、専門技術者届	契約後　　１０日以内	1　部	経歴、資格を記す
6 ⑦	現場常駐職員届 下請業者等承諾	契約後　　１０日以内 契約後　　１０日以内 その都度（早急）	1　部 1　部	経歴、資格を記す 工事施工及び下請契約以前である事
⑧	使用材料機器等承諾願	その都度（早急）	1　部	製作以前であること
⑨	材料試験成績報告書	その都度	1　部	
⑩	工事記録報告書	週報として 週毎	1　部	内容
⑪	打合せ記録書	その都度	1　部	内容
⑫	変更工事見積書	その都度	1　部	
⑬	出来高承認願	その都度	1　部	
⑭	官公署出願書類控	その都度	1　部	
⑮	工事竣工検査願	工事完了　１０日以内	1　部	
⑯	工事竣工引渡書類 完了届、引渡書、検査済証、使用許可書、 届出書、工事保証書、鍵引渡書、 各種使用説明書	竣工時	1　部	
⑰	工事竣工引渡備品 予備材料 その他の資料、材料、器具類	竣工時	1　組	
⑱	竣工図 （図示の範囲は指示による）	竣工後　　１０日以内	A２　２部 A３ A３　１部	1部　２つ折製本　文字入り
⑲	工事写真 （撮影箇所は指示による）	その都度	1　部 ｶﾗｰ･ｻｰﾋﾞｽ版	一定の台紙に貼付し、撮影月日を明記すること。竣工時にアルバムに製本する。
⑳	竣工写真 （撮影箇所は指示による）	竣工後　　１０日以内	1　部 ｶﾗｰ･ｷｬﾋﾞﾈ版	専門業者による撮影
21	その他			

※　提出部数について、請負者控え（承認図書含）は別途とする

4．補足事項

・設計書の数量並びに項目は参考とし、設計図及び設計書を併合し、何れかにあるものは工事に含み、何れにもない場合でも当然必要と思われるものは業者にて積算を行うこと。質疑日までに質疑なき場合は入札後の異疑は申し受けない。依って請負契約後、追加・変更工事以外は一切数量の過不足による工事の増減は行わないものとする。

・追加・変更工事については、市単価×落札率に依って変更の増減を行う。

章	項　目	特　記　事　項

1 改修一般共通事項

① 適用基準等
(・)建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　平成13年版）
(・)工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
・
・

② 工事実績情報の登録
(※) 適用する　[1.1.4]

③ 品質計画等
(・)建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事　(1.2.2)
※風速（Vo＝　34m/秒　　　）
※地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　(・)Ⅳ　）
・積雪区分　H12建告示第1455号　別表（　　）32
・

④ 電気保安技術者　[1.3.3]
工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・要　(・)不要

⑤ 条件明示項目
(・)現場説明書による　[1.3.5]

⑥ 発生材の処理等
※現場説明書による　(・)構外搬出適切処理　[1.3.8]

⑦ 建築材料等
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の項目を満たすものとする。
（１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（３）安定的な供給が可能であること
（４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
（５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑧ 化学物質を発散する建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。
１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
３）接着剤はフタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
５）１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b.接着剤等不使用
c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
③旧JISのEo規格品
④旧JASのFco規格品

⑨ 特別な材料の工法
改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑩ 技能士　[1.6.2]

適用工事種別	技能検定作業
防水改修工事	・アスファルト防水工事作業　・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・左官作業　・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業　・タイル張り作業　・建築塗装作業　・外壁改修作業
建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業　・ガラス工事作業　・鋼製建具作業 ・自動ドア施工作業　・パーテション作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上げ工事作業　・鋼製下地工事作業　・左官作業 ・壁装作業　・大工工事作業　・タイル張り作業
塗装改修工事	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄骨組立作業　・型枠工事作業　・とび作業　・鉄筋組立作業
コンクリートブロック・ALCパネル工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業
石工事	・石張り作業
植栽工事	・造園工事作業

11 化学物質の濃度測定　[1.6.6]
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定　・行う
測定対象室　・図示　・
測定箇所数　・図示　・
報告の様式等については、現場説明書による。

⑫ 完成図等
(・)完成図　[1.8.1～3]［表1.8.1］
・既存図面修正
(※) 作成する　提出部数　※　A２、A３　各２部（電子媒体（JW・CD-R）
種類　※　改修標仕表1.8.1による。
ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。
(※) 施工計画書　提出部数　(※)1部　・　部
(※) 施工図　提出部数　(※)1部　・　部
(・) 保全に関する資料　提出部数　(※)1部　・　部

13 設備工事との取り合い
※　設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑭ 設計GL
(※) 図示　・設計GL＝現状GL

2 仮設工事

① 足場その他
内部足場　種別　(※)きゃたつ、足場板等　・　[2.2.1]
外部足場　種別　※A種　・B種　・C種　・D種　[2.2.1]［表2.2.1］
防護シートによる養生　※行う　・行わない
材料、撤去材等の運搬　[2.2.1]［表2.2.2］
・A種　※B種　・C種　・D種　・E種

② 養生
既存部分の養生　(※)ビニルシート等　・　[2.3.1]
既存家具等の養生　※ビニルシート等　・
固定家具等の移動　※行わない　・行う（図示）

3 仮設間仕切
仮設間仕切り等の種別　[2.3.2]［表2.3.1］

種　別	下　地	仕上材（厚さ　mm）	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0　・　　）		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード（※9.5　・　　）	厚さ　mm	・片面
※C種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度　・ ※片面フラッシュ程度　・		※無し ・有り

4 監督職員事務所
・既存建物内の一部を使用する　・構内に設置する　・設けない　[2.4.1]
・規模及び仕上げの程度は現場説明書による。

5 工事用水
構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

6 工事用電力
構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

5 建具改修工事

1 改修工法の適用　[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	備　考
・アルミニウム製建具		・	・	
・鋼製建具	・外部	・	・	
	・内部	・	・	
・鋼製軽量建具		・	・	
・ステンレス製建具		・	・	

2 見本の製作等
・特殊な建具の仮組（建具符号：　　　　　）　[5.1.5]

3 アルミニウム製建具
外部に面する建具　[5.2.2]［表5.2.1］

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・A種	S—4	※A—3		※70	※図示 ・
・B種	S—5	・	※W—4	・	
・C種	S—6	A—4	W—5	100	

表面処理　[5.2.4]［表5.2.2］
※B—1　・B—2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
屋内建具
表面処理　※C—1種又はB—1種　[5.2.4]［表5.2.2］
・C—2種又はB—2種（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

4 網戸
防虫網　[5.2.3]
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形　式　※外部可動式　・固定式

5 鋼製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　[5.3.2]［表5.3.1］
耐風圧性能の適用は建具表による
特定防火設備の戸　・適用する　[5.3.4]

6 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　[5.4.2]
・ 製造所標準仕様による（間仕切パーティション仕様による）

7 ステンレス製建具
簡易気密型ドアセットの適用は特記による　[5.5.2]
耐風圧性能の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ　・　[5.5.4]
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強有り）　[5.5.5]
特定防火設備の戸　・適用する　［表5.5.1］

8 自動ドア開閉装置
※製造所標準製作規定寸法許容差による　[5.7.2、3]［表5.7.1～3］

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ　・電子マットスイッチ ※光線スイッチ　・音波スイッチ ・熱線スイッチ　・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

9 自閉式上吊り引戸装置
品質規格　※ 改修標仕5.8.3による　[5.8.3]［表5.8.1］
・ 製造所標準仕様による（間仕切パーティション仕様による）

10 木製建具
かまち戸の樹種　かまち（　　　　　）　鏡板（　　　　　）　(16.6.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　(表16.6.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　(16.6.2)
※規制対象外　・第三種

11 建具用金物
マスターキー　※製作する　・製作しない　[5.6.4]
建具用金物　[5.6.2、3]［表5.6.1、2］
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける
吊金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ

12 ガラス
※建具表による　[5.12.2]
・ガラスブロック　[5.12.5]

寸法（mm）	色　調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射 ・乳白　・カラー（　　　）		※無し ・有り

13 ガラス留め材及び溝
ガラス留め材　[5.12.2]［表5.12.1］

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　[5.12.3]
改修標仕5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会JASS17 ガラス工事　「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。

14 ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・			

品質JIS A 5759による

15 重量シャッター　[5.9.2]［表5.9.1］

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　　）N/m^2
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　　）N/m^2
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能
※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置　（自動閉鎖型）　[5.9.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　[5.9.2]

16 軽量シャッター
開閉形式　[5.10.2]［表5.10.1］
※手動式　・上部電動式（手動併用）
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　[5.10.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　[5.10.4]
ガイドレール等　［表5.10.2］
※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）
耐風圧性能（　　）N/m^2

17 オーバーヘッドドア　[5.11.2～4]［表5.11.1、2］

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 （SUS304）

耐風圧性能（　　）N/m^2

18 かぎ箱
市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

19 間仕切パーティション
・アルミパーテション（プレフリーEA-N50同等：文化シャッター）

CHECK	DRAWING	工事名	加東市滝野庁舎空調設備改修工事	DATE H 26・11	A - 01
		図面名	改修工事特記仕様書（１）	SCALE A2 —　A3 —	

6 内装改修工事

① 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
(※) 既存のまま
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） [6.2.2]
・下地モルタルとも（※図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒工法
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・

3 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2] [4.4.9]
※図示
・モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない）

4 木下地等

木材の品質 [6.5.2] [表6.5.2、3]
※改修標準仕様書6.5.2による ・市販品
代用樹種 ※改修標仕表6.5.4による [6.5.2] [表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所（ ）
保存処理木材を適用する箇所（ ）

5 集成材等 G

[6.5.2]

品 名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも ・なら ・しおじ	
・構造用集成材	※1級 ・2級	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

6 接着剤

接着材に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 [6.5.2]
※木工事に使用する接着剤
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系
防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種
[6.8.2] [6.14.2]
※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤、
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

7 防腐、防蟻処理

行う箇所（ ）
防腐処理 ※行う（※図示 ・ ）
防蟻処理 ・行う（※図示 ・ ）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床 [表6.5.11]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
		・板張り	
床板	※単層フローリング（共仕19.5.2による）		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
	・縁甲板		※ひのき ・

⑨ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 [6.6.2] [表6.6.1]
屋外（・19型 ※25型） 屋内 (※)19型 ・25型）
既存の埋込インサート ・使用する ・使用しない [6.6.3、4]
あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ・行わない [6.6.4]

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 [6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種 類	JISの記号	色 柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地	
・			
・			

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ） [6.8.3]

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種 類	JISの記号	厚さ（mm）	備 考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種 類	厚さ（mm）	性 能
・コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値（JIS K 6911による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	$1.0X10^{9}$Ω以下、または、
・	・	漏えい抵抗値（JIS A 1454による）
・	・	$1.0X10^{10}$Ω未満

14 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9251による [6.8.2]
色彩は黄色を原則とする
屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・ ）
・レジンコンクリート製
屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・ ）

15 ビニル幅木

高さ（mm） ・60 ・75 ・100 [6.8.2]

16 合成樹脂塗り床

[6.10.3] [表6.10.3～7]

種 別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 [6.10.2]
※規制対象外 ・第三種

17 フローリング張り

[6.11.2～7] [表6.11.1～4]

種 別	材 種	工 法	仕上げ塗装等	備考
※天然木化粧複合フローリング	※なら ・ひのき	※釘どめ工法（C種）	※塗装品 ・無塗装品	
	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種

18 畳敷き

[6.12.2、3] [表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.9による床組	※B種 ・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種 ・

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地 厚さ（mm） ※40 ・65 ・80
フローリング類 厚さ（mm） ※80 ・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん [6.9.2、3] [表6.9.1]

種 別	パイル形状	色柄 等	備考
・A種	・カットパイル	※無地	
・B種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タフテッドカーペット [6.9.2、3] [表6.9.2]

パイル形状	パイル長（mm）	工 法	備考
・カットパイル	※5～7 ・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	
・ループパイル	※4～6 ・		
・レベルループパイル	※4 ・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タイルカーペット [6.9.2、3] [表6.9.2]

パイル形状	種 類	種 類	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性 ・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）

㉑ せっこうボードその他のボード張り

[6.13.2] [表6.13.1]

種 類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW G	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	NW G	・15 ・20 ・25 ・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）（・6 ・8 ・ ）
・ロックウール化粧吸音板	DR	(※) フラットタイプ (※) 9（不燃） ・12 ・ ） ・凹凸タイプ （※12（不燃） ・15 ・19 ・ ）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR DR(凹凸) DR(軒天) DR(軒天凹凸)	※フラットタイプ 9（（個）不燃） ・凹凸タイプ （※12 ・15）（（個）不燃）
・せっこうボード	GB−R	※12.5（不燃） ・9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB−NC	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB−S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB−F	12.5（不燃） 15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB−L	9.5
・化粧せっこうボード	GB−D	9.5（不燃）幅440mm程度
・難燃合板	G	・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF G	・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張りパーティクルボード	G	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・ハードボード（素地）	HB G	・無研磨板（・スタンダード ・テンパード ） ・研磨板 （・スタンダード ・テンパード ）
・インシュレーションボード	IB G	A級（・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18 ・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する ・適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種 類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	RW−B	※25 ・
※グラスウール吸音ボード32K	GW−B	※25 ・

23 壁紙張り

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質	防火性能	備考
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ [6.14.3] [表7.2.4] [表7.2.7]
モルタル、プラスター面 ※RB種 ・RA種（施工箇所： ）
せっこうボード面 ※RB種 ・RA種（施工箇所： ）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.14.2]

24 モルタル塗り材料

吸水調整材 [6.15.3]

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝 結 時 間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

収縮性、膨張性のひび割れおよびそりがないこと。
既製目地材 ※適用しない ・適用する

25 陶磁器質タイル張り

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	せっ器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 あり	なし	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする
タイルの見本焼き ※行わない ・行う（※外装タイル ・ ）
内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・積上げ張り

26 断熱材

(19.9.2、3)

種 類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部 ・	※25 ・	特定フロンを使用しないもの
	※3種b（スキン層付）	・接地部分 ・	※25 ・	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	──	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級 ・2級
		・一般部 ・	※15 ・	

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した
断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

27 浴室天井材

市販品

材 質	表面仕上げ	性 能	幅（mm）	備 考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品		※300	
	・木目調		・100	

28 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構 法	仕上り高（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備 考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は、各内装工事による
スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 （コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント ・
空調用吹き出しパネル ※無し
・有り（※固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示）

29 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・	※鋼板 （※0.6 ・0.8） ・	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり （ ） ・なし	・あり ・なし

30 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ（36db以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は23壁紙張りによる
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

31 トイレブース

表面仕上げ材 ※メラミン樹脂系化粧板（標準色 アルミ製コーナーエッジ付き） (20.2.5)
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状 ※幅木型 ・足金物型

32 階段滑止め

材 種 ステンレスSUS304 (20.2.6)
形 状 ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド ※有り（・ステンレス製 ※ビニル製） ・無し
幅（mm） 約35
取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法

33 階段手すり

種 別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ（市販品 径 約45mm）	
・ビニル製ハンドレール（幅 約50mm）	

34 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種 類		寸法（mm）	色 彩	備 考
・黒板	※焼付け		※緑 ・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
			※緑 ・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

35 表示

衝突防止表示 ※図示（市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・ ） (20.2.10)
（・両面 ・片面）
・無し
表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所 監督職員の承諾する製造所

36 ブラインド

・既存再使用する（養生方法： ） [2.3.1] [5.1.6]
・新設する (20.2.12)

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

37 ロールスクリーン

防炎性能 ※有り
製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装置 電動	手引	性 能（防炎性能）	備 考
	・	・		
	・	・		
	・	・		

38 カーテン

・既存再使用する（養生方法： ） [2.3.1] [5.1.6]
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形式 片引	引分	装置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性 能	備 考
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

39 カーテンレール

・既存再使用する [5.1.6]
・新設する (20.2.14)
材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製
形 式 ・片引き ・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

40 ブラインドボックス及びカーテンボックス

・既存再使用する [5.1.6]
・新設する
・市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ（mm） ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・
色彩 ※B−1 ・B−2（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
・図示

41 天井点検口

材 質 アルミニウム製（※額縁タイプ ・目地タイプ）

42 床点検口

材 質 アルミニウム製（受け枠 ※アルミ製 ・ステンレス製）

43 鋼製書架及び物品棚

種 類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種

44 くつふきマット

市販品
材 質 ・塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠） ・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ステンレス製（受枠とも）

45 流し台ユニット

種 類	寸法(L＝ mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200 ・1500 ・1800	トラップ付き	※優良住宅部品（セクショナルキッチンⅠ型） ・
・コンロ台	※600 ・700 ・	バックガード ※有り	
・つり戸棚	※1200 ・900 ・600		
・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品

46 屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

47 洗面カウンター

材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石
奥行き（mm） ・約450 ・約600

48 収納家具

材質 (12.2.2) (19.7.2)
形状・寸法 ※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

49 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※50 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

本工事場所
（加東市下滝野１２６９番地の２）
付近見取図　1：14,000
車庫
工事車両置場
駐車場
滝野文化会館
機械室
図書館
資料館倉庫
民俗資料館
倉庫
キュービクル
滝野公民館
児童館
資材置場
滝野庁舎
道路
滝野庁舎　配置図　1：700
凡　例
改修工事建物（対象建物）
既存建物
仮囲い　：　フェンスバリケード　H=1，800
養生シート張り
－　注　記　－
註1）　ガードマンが必要な場合は、施主・工事監理者・請負業者と協議のうえ配置すること。
註2）　工事期間中に災害が発生した場合は、仮囲いの盛替えや撤去を必要とする場合は施主と協議のうえ最終決定とする。
註3）　上記仮設計画は基本計画であり、施主・工事監理者・請負業者と協議のうえ最終決定とする。
註4）　工事完了後の工事車両通路、工事車両置場、資材置場は整理・清掃を行うこと。
CHECK
DRAWING
工事名
加東市滝野庁舎空調設備改修工事
DATE
H 26・11
PROJECT No.
SHEET No.
A － 03
図面名
配置図
SCALE
A2　1:700
A3　1:980

仕上表・撤去リスト

符号	仕上
Ⓐ	岩綿吸音板厚12.0＋プラスターボード厚9.0（ＬＧＳ下地） ＜一部 仕上下地共撤去＞ カッター切共
Ⓑ	岩綿吸音板厚9.0（ＬＧＳ下地） ＜一部 仕上下地共撤去＞ カッター切共
Ⓒ	化粧プラスターボード 厚9.0（ＬＧＳ下地） ＜一部 仕上下地共撤去＞ カッター切共
（撤去範囲記号）	撤去範囲を示す ※天井仕上材撤去に伴う範囲（壁際、柱型際）を廻縁撤去範囲とすること
（長方形）	既設照明器具（埋込・露出）
（円）	既設照明器具（埋込・露出）
⊠	既設アルミ製天井点検口
⊠⊠	既設天井付空調機
◇自	既設自動火災報知設備 感知器
◇非	既設非常用照明
◇吸	既設空調機吹出ガラリ
◇給	既設外気給気口
◇排	既設排気口
◇換	既設換気扇
◇ス	既設放送用スピーカー
◇セ	既設センサー

CHECK	DRAWING	工事名	加東市滝野庁舎空調設備改修工事	DATE	H 26・11	SHEET No.	A - 04
		図面名	1階天井伏図＜改修前＞	SCALE	A2 1:150 A3 1:210		

＜改修後＞１階天井伏図　1:150
耐火書庫
機械室
ELV
階段室
更衣室 Ⓒ
CH=2,500
スチールカーテンBOX
男子便所
女子便所
身障者便所
P.S
機械室
階段室
廊下 Ⓐ
CH=2,460
U.B
宿直室
休憩室
印刷室 Ⓒ
CH=2,400
事務室
CH=2,990
光庭
防煙タレ壁：網入ガラス H=500
壁芯
柱芯
サッシ芯
22,460
仕上表・改修リスト
符号 | 仕上
Ⓐ 岩綿吸音板厚12.0＋プラスターボード厚9.0（ＬＧＳ下地）＜既設のまま＞
Ⓑ 岩綿吸音板厚9.0（ＬＧＳ下地）＜既設のまま＞
Ⓒ 化粧プラスターボード 厚9.0（ＬＧＳ下地）＜既設のまま＞
Ⓓ 岩綿吸音板厚12.0＋プラスターボード厚9.5（ＬＧＳ下地）＜仕上下地共新設＞
Ⓔ 岩綿吸音板厚9.0（ＬＧＳ下地）直張り工法 ＜仕上下地共新設＞
Ⓕ 化粧プラスターボード 厚9.5（ＬＧＳ下地）＜仕上下地共新設＞
新設範囲を示す
※天井仕上材新設に伴う範囲（壁際、柱型際）を廻縁新設範囲とすること
アルミ製天井点検口 450角 開口補強共 ＜新設＞
天井カセット空調機用開口 ＜新設＞
凡例＜改修後＞
室名 今設工事対象室を示す
CHECK
DRAWING
工事名 加東市滝野庁舎空調設備改修工事
図面名 １階天井伏図＜改修後＞
DATE H 26・11
SCALE A2 1:150 A3 1:210
SHEET No. A－05

<改修前>　屋外室外機廻り平面詳細図　1：50
サッシ芯
柱芯
壁芯
中木、低木<撤去>
※抜根共
縁石ブロック
側溝・鋼製グレーチング
植栽
ガスメーター（既設）
LP庫
ELV
機械室
更衣室
男子便所
女子便所
5,790
5,720
5,990
4,020
<改修後>　屋外室外機廻り平面詳細図　1：50
室外機基礎<新設>
W1310×D1310×H150
室外機<設備工事>
1,310
1,200
≒1,050
A−A　室外機基礎断面詳細図　1：50
天端：コンクリート直押え
面取り
As地盤
溶接金網：6φ150@
砕石敷き t=100
縁石ブロック<既設のまま>
滝野庁舎
註）室外機基礎の位置は現場打合せの上、最終決定とする
コンクリート：18N／mm²　、　S=15
CHECK
DRAWING
工事名
加東市滝野庁舎空調設備改修工事
図面名
屋外室外機廻り詳細図<改修前後>
DATE
H 26・11
SCALE
A2 1:50
A3 1:70
SHEET No.
A - 06

電気設備工事　仕様書

1.工事概要	
工事名称	加東市滝野庁舎空調設備改修工事
工事場所	加東市　下滝野地内
2.特記事項	
共通仕様書	本工事は本特記仕様書並びに設計図に基づき、
	公共建築（改修）工事標準仕様書及び公共建築設備工事標準図（各電気設備工事編・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・最新版）
	建築基準法、消防法・内線規定等の関係諸規定に準拠し完全に施工のこと。
諸　手　続	本工事に必要な諸官庁及び電力会社への申請は全て請負者が行い、費用も全て請負者負担とする。
軽微な変更	設計図、仕様書の中で納まり、又は取り合い関係が生じた軽微な変更、並びに本設計図に明記なき事項でも機能上、
	当然必要な事項は係員の指示に従い施工すること。尚、この場合原則として工事費の増額は行わない。
工　程　表	請負者は工事着手前に施工図及び工程表を作成し係員の承諾を受けた後、施工すること。
	尚、照明灯具盤類は製作図を作成し、係員の承諾後、発注製作すること。
現場責任者	工事請負者は工事着手と共に現場担当技術者を定め、その資格、業務内容等を明示した書類を提出し、係員の承認を受けること。
設計図書優先順位	設計図書中の相互に差異のある場合の優先順位は次の通りとする。但し、現場説明事項及び質疑回答書は最優先とする。
	1）特記仕様書　2）設計図書　3）共通仕様書
立ち会い検査	各工事は、予め係員の支持した工程に達した時、立ち会い検査を受けること。
	施工後の検査が不可能又は困難な工事は、その施工に際し立ち会い検査を受けること。
提出書類	施工時において、下記の書類、図面等２部を指定の様式に従い１ケ月以内に提出すること。
	1）工事記録写真　2）竣工写真　3）機器取扱説明書及び保証書　4）各種試験成績書　5）機器完成図書
	6）竣工図　7）予備品目録　8）CADデーター（JW）
動力・水・その他	1）仮設工事用電力及び水並びに諸手続等の費用は全て請負者の負担とする。
	2）本設備の電力、水等は使用開始日以降市負担、工事期間中の仮設電力、用水は無償提供する。
消防検査	1）消防検査及びその手続きを行うこと。
	2）上記の費用は請負者の負担とする。

工事種目	名　称		屋外	屋内
	1　受変電	設　備　工　事	・	・
	2　幹線	設　備　工　事	・	・
	3　動力	設　備　工　事	⊙	⊙
	4　電灯コンセント	設　備　工　事	・	⊙
	5　電話	設　備　工　事	・	・
	6　LAN	設　備　工　事	・	・
	7　テレビ供聴	設　備　工　事	・	・
	8　インターホン	設　備　工　事	・	・
	9　電気錠	設　備　工　事	・	・
	10　トイレ呼出	設　備　工　事	・	・
	11　機械警備	設　備　工　事	・	・
	12　放送	設　備　工　事	・	・
	13　自動火災報知	設　備　工　事	・	・
	14　防排煙制御	設　備　工　事	・	・
	15　既設体育館送り	設　備　工　事	・	・
	16　AV警備	設　備　工　事	・	・

一般事項	特記仕様書の内容が設計図と相違する場合は、特記仕様書。
	1）特記なき電線は６００V、EM-ＩＥ電線とし、色別表示を行うこと。尚、ケーブル類はテープ巻にて色別表示のこと。
	2）配線器具は原則として大角連用形としてプレートは（ ⊙ 新金属 ・ フルカラー ・ コスモワイド ）とする。
	3）スイッチが４ケ以上になる場合は、ネームスイッチとする。
	4）蛍光灯の４０W以上は、ＲＨ（ ・ 一般型 ・ 省電力型 ）とする。４０W未満はＧＨとする。
	5）ＨＩＤ器具用安定器は、（ ・ 一般高力率 ・ 低始動電流型高力率 ）とする。
	6）非常照明器具は、（ ・ 電池内蔵式 ・ 電源別置式 ）とする。
	7）空配管には、呼線１，２mmビニール被覆鉄線挿入のこと。
	8）特記なき電線管は（ ・ ＣＰ ⊙ ＥＰ ・ ＰＦ－Ｓ ・ ＰＦ－Ｄ ・ ＣＤ ）とする。
	9）地中埋設配管は、
	・ ＰＥライニング鋼管 ・ ＨＩＶＥ ⊙ ＦＥＰ［難燃性タイプ］ ・ ＰＦ－Ｄ［車両等の圧力を受けない場所］とする。
	10）埋設深さは特記なき限り（ ・ ＧＬ－３００ ⊙ ＧＬ－６００ ・ ＧＬ-1200 ）以上とする。
	11）露出配管は、（ ・ 無塗装 ・ 指定色調合ペイント２回塗 ⊙ エッチングプライマー処理）とする。
	12）接地極は特記なき限り下記による。（ ・ 接地埋設標取付）
	第Ａ種 ・ 第Ｂ種 特別第Ｃ種（ ・ 銅板１，５ｔ×９００×９００ ・ 銅被覆鋼棒１４φ×１，５００×２連結）
	第Ｄ種（ ・ 銅板１，５ｔ×５００×２５０ ・ 銅被覆鋼棒１４φ×１，５００×２連結）
	測定用（ ・ 銅被覆鋼棒１０φ×１，０００）
	13）アウトレットボックスは、（ ・ ＶＥ製 ⊙ 鋼製 ）する。
	14）屋外プルボックス類は、（ ・ ＶＥ製 ・ 鋼製 ⊙ ＳＵＳ ）する。
	15）埋設シートは、（ ・ １倍 ⊙ ２倍 ・ ３．５倍 ）折りする。
	16）建物外部及び多湿部分の配管、機器等の支持金物、ビス、ボルト等はステンレスとする。
	17）ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ､ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ及び電気用点検口については用途表示すること。(ｱｸﾘﾙｴｯﾁﾝｸﾞ､ﾋﾞｽ留めによる)
	18）工事着工前に既設電気設備を詳細調査のうえ施工のこと。
	19）図中の姿図(品番)は参考とし係員の承諾を得て施工着手のこと。
	20）ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄには回路番号表示を行う事。

使用資材	電線・ケーブル	JIS規格品						
	電線管	JIS規格品						
	分電盤・端子盤	因幡	河村	大日	中立	内外	日東	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
	配線器具	神保	寺田	東芝	日亜	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ		

凡　例	名　称・仕　様	備　考
	電　灯　盤	
	動　力　盤	
	埋込スイッチ片切	
○	パイロットスイッチ	
	埋込コンセント	１口、２口、３口
	フロアーコンセント	１　口　、　２　口
WP	防水コンセント	接地極・接地端子付
	抜止コンセント	
2E	埋込コンセント	2P15A×2　接地極付
	接　　　地	
	プルボックス	別途記載
	天井いんぺい配線	
	床いんぺい配線	
	露　出　配　線	
	立上り、立下り	
	壁　貫　通　処　理	

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	SHEET No.
		加東市滝野庁舎空調設備改修工事	H 26・11	E - 01
		図面名	SCALE	
		電気設備　特記仕様書	A2 — A3 —	

盤図（1）

（注記）ﾒｰｶｰ標準品・指定色とする。

遮断器欄、記号に○印記入のものには樹脂製ﾊﾝﾄﾞﾙﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ（赤色）を取付、且つ負荷名称は赤字にて表示のこと

凡例

記号	形式
(a)	ＡＣ　１００Ｖ　専用回路
(１０n)	ＡＣ　１００Ｖ　電灯
(２０n)	ＡＣ　２００Ｖ　電灯
(３０n)(５０n)	ＡＣ　１００Ｖ　コンセント
(４０n)(６０n)	ＡＣ　２００Ｖ　コンセント
Ａ	ＭＣＣＢ　２Ｐ　１Ｅ　５０ＡＦ　２０ＡＴ　１Ｐｻｲｽﾞ協約形
Ｂ	ＭＣＣＢ　２Ｐ　２Ｅ　５０ＡＦ　２０ＡＴ　１Ｐｻｲｽﾞ協約形
Ｃ	ＥＬＣＢ　２Ｐ　１Ｅ　５０ＡＦ　２０ＡＴ　１Ｐｻｲｽﾞ協約形
Ｄ	ＥＬＣＢ　２Ｐ　２Ｅ　５０ＡＦ　２０ＡＴ　１Ｐｻｲｽﾞ協約形
MC	電磁開閉器（・ＯＮ，ＯＦＦ押釦・電流計・運転表示ﾗﾝﾌﾟ）付
CPU	伝送ﾕﾆｯﾄ（停電補償付）ｸﾞﾙｰﾌﾟ監視表示形 分電盤用
AMP	増幅器 分電盤用
Ry-T/U 4	ﾘﾚｰ制御用T/U（4回路用）ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁ設定式 分電盤用
R-Tr	ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ
TM R	年間ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾀｲﾏﾕﾆｯﾄ（ｿｰﾗｰ機能付） 分電盤用
LC-T/U CON	ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ蛍光灯　連続調光T/U　光ｱﾄﾞﾚｽ設定式 分電盤用
▲	ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ 分電盤用　1P 20A
△	ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ 分電盤用　2P 20A

負荷容量算定表

表１－１２より抜粋

負荷名称			負荷容量（VA）
蛍光灯	Ｈｆ直管形ランプ	１６（定格）Ｗ×２	４４
		２３（定格）Ｗ×２	５６
		３２（定格）Ｗ×２	３７
		４５（定格）Ｗ×１	５０
		３２（定格）Ｗ×２	７３
		４５（定格）Ｗ×２	９９
	Ｈｆコンパクト形ランプ	１６Ｗ×１	２２
		２４Ｗ×１	３２
		３２Ｗ×１	３８
		４２Ｗ×１	５２
	コンパクト形低力率ランプ	１３Ｗ×１	３０
		１８Ｗ×１	３７
		２７Ｗ×１	６１
	コンパクト形高力率ランプ	３６Ｗ×１（電子式安定器使用）	４０
		５５Ｗ×１（電子式安定器使用）	５７
		３６Ｗ×２（電子式安定器使用）	７６
		５５Ｗ×２（電子式安定器使用）	１１２
	直管形低力率ランプ		Ｗｏ×２．０
	直管形高力率ランプ	２０形以下	Ｗｏ×１．５
		４０形（ＮＷ）×１（改良形安定器使用）	４７
		４０形（ＬＷ）×１（改良形安定器使用）	４４
		４０形（ＬＷ）×１（電子式安定器使用）	４２
		４０形（ＮＷ）×２（改良形安定器使用）	８５
		４０形（ＬＷ）×２（改良形安定器使用）	８０
		４０形（ＬＷ）×２（電子式安定器使用）	７８
	環形低力率ランプ	３２形及び３２形	７０
		４０形	１００
	環形高力率ランプ		Ｗｏ×１．５

負荷名称			負荷容量（VA）
ＨＩＤ	低力率	１００Ｖ	Ｗｏ×２．５
		２００Ｖ	Ｗｏ×２．０
	高力率		Ｗｏ×１．５
白熱灯			Ｗｏ×１．０
コンセント	一般（１５Ａ）		１００
	専用（２０Ａ）		１，０００
	ＯＡ機器用	液晶画面	５０
		ＣＲＴ画面	３５０
		プリンター	８００
ボタン電話主装置		１０回線以下	５０
		１０回線超過５０回線以下	２００
		５０回線超過１００回線以下	３００
構内交換機用電源装置		５０回線以下	２００
		５０回線超過１５０回線以下	４００
		１５０回線超過３５０回線以下	１，０００
拡声用増幅器			Ｗｏ×３
火災報知Ｐ型１級複合盤		２０回線以下	２００
		２０回線超過５０回線以下	２５０
		５０回線超過１３０回線以下	５５０
火災報知Ｒ型受信機		５００アドレス以下	４５０
		５００アドレス超過１，０００アドレス以下	６００
テレビ共同受信用増幅器			５０

許容負荷電流

表１－１４より抜粋

機器	許容負荷電流
配線用遮断器	配線用遮断器の定格電流　×　０．８
〃　（ファンコイル用回路）	〃　×　０．５
〃　（ＯＡ機器用回路）	〃　×　０．７
スイッチ	スイッチの定格電流　×　０．６
コンセント	コンセントの定格電流　×　０．７

分電盤

盤名称	主遮断器	回路Ｎｏ	遮断器	制御回路	負荷容量(kw)		負荷名称
（設置場所）機械室 M-1-1 既存品	3φ3W 200V/200V 中性線欠相保護付 MCCB 3P	1	MCB 3P 100AF/60AT			5.5	消化Ｐ
	MCB 3P 150/225 3φ3W 200V/200V	2	MCB 3P 50AF/50AT			5.5	冷却水Ｐ
		3	MCB 3P 100AF/100AT			15.0	冷温水Ｐ
		4	MCB 3P 50AF/30AT			3.7	冷却塔
		5	MCB 3P 50AF/50AT			5.7	吸収式冷温水機
							インターロック
							発・停
		6	MCB 3P 50AF/20AT			0.25×2	水中Ｐ
		7	MCB 3P 50AF/30AT			C= 2.2 F=0.14	食堂・ＰＡＣ
		8	MCB 3P 50AF/15AT			0.4	印刷室ＦＡＮ
		9	MCB 3P 50AF/15AT			0.4	
		10	MCB 3P 50AF/15AT				自立制御Ｐ
		11 Ｍ１	ELCB 3P 50AF/40AT			6.05	室外機
		12 Ｍ２	ELCB 2P 30AF/15AT			6.15	室内機（印刷室・更衣室）

今回増設分

動力盤に室外機用・室内機用ブレーカー2個増設

ET

ED

盤名称	主遮断器	回路Ｎｏ	遮断器	制御回路	負荷容量 電灯	負荷容量 コンセント	負荷名称

		工事名	加東市滝野庁舎改修工事	DATE	H 26・11	SHEET No.	E - 02
CHECK	DRAWING	図面名	分電盤図計画書	SCALE	A2 — A3 —		

※動力盤M-1-1に　単相２００Ｖ室内機用ブレーカー(2P 30AF/15AT)増設
３相２００Ｖ室外機用ブレーカー(3P 50AF/40AT)増設
M-1-1
EM-CE5.5-3C(1E)
EM-CE8□-4C (EP31) 露出塗装
P.BOX150×150×100 露出塗装
P.BOX150×150×100 SUS(WP)
EM-CE8□-4C(GP28)
EM-CE5.5-3C(1E)
EM-CE5.5-3C(1E)
M1
M2
23.403m
機械室
更衣室
階段室
男子便所
女子便所
身障者便所
LP庫
ELV
階段室
耐火書庫
機械室
ロビー
事務室
廊下
U.B
宿直室
休憩室
食堂
印刷室
物品庫
金庫室
副市長室
風除室
光庭
事務室
事務室
バルコニー
バルコニー
バルコニー
擁壁
植栽
P.S
FL-50
1階平面図　1:150
注記
特記無き配管配線は下記による
EM-CE8□-4C　(EP31)　露出塗装
EM-EEF1.6-2C(MMA)　(立下げのみMMA使用)
壁貫通処理（φ100）
P.BOX150×150×100　露出塗装
P.BOX150×150×100　(SUS WP)
パイロット付Ｂスイッチ
CHECK
DRAWING
工事名
加東市滝野庁舎空調設備改修工事
図面名
空調・動力設備　1階平面図
DATE
H 26・10
PROJECT No.
SHEET No.
E - 03
SCALE
A2 1:150
A3 1:210

加東市滝野庁舎空調設備改修工事
仕様書
CHECK
DRAWING
工事名
加東市滝野庁舎空調設備改修工事
図面名
機械設備　特記仕様書
DATE
H 26・11
SCALE
A2 -
A3 -
SHEET No.
M - 01

機器一覧表

記号	名称	仕様								数量	付属品	型式	設置場所	備考
		冷房能力 (kw)	暖房能力 (kw)	電源	COMP (kw)	FAN (kw)		消費電力 (kw) 冷房	消費電力 (kw) 暖房					
PAC－1	空冷ヒートポンプエアコン ビル用マルチ室外機 ＜８馬力＞	22.4	25.0	3φ200V	4.5	0.38		5.63	6.05	１基	防振ゴム 共	RXYP224CA	庁舎北側（植栽部分）	コンクリート基礎は、本工事
PAC－1－1	空冷ヒートポンプエアコン 天井カセット形（４方向吹出）	8.0	9.0	1φ200V	——	0.056		5.63	6.05	１台	標準パネル，ワイヤードリモコン 共	FXYFP80MD	1階 食堂	
PAC－1－2	空冷ヒートポンプエアコン 天井カセット形（２方向吹出）	7.1	8.0	1φ200V	——	0.046		0.063	0.060	１台	標準パネル，ワイヤードリモコン 共	FXYCP71BA	1階 印刷室	

系　統　図

冷媒管サイズ	
記号	冷媒管
Ⓐ	(9.5φ15.9φ)
Ⓑ	(9.5φ19.1φ)
Ⓒ	(9.5φ22.2φ)
Ⓓ	(12.7φ28.6φ)
Ⓔ	(15.9φ28.6φ)
Ⓕ	(19.1φ31.8φ)
Ⓖ	(19.1φ38.1φ)
Ⓗ	(6.4φ12.7φ)

注）室外機 ←→ 室内機間の渡り配線（本工事）は、EM－CEES ２.０－２Cとし、冷媒管に共巻とする。

室内機 ←→ 室内機間の渡り配線（本工事）は、EM－CEES ２.０－２Cとし、冷媒管に共巻とする。

室内機 ←→ リモコン間の操作線（本工事）は、EM－CEES １.２５－２Cとする

〃）冷媒管で屋内・屋外露出の外装はSUSラッキングとする。

CHECK	DRAWING	工事名 加東市滝野庁舎空調設備改修工事	DATE H 26・11	SHEET No. M - 02
		図面名 冷暖房設備工事　系統図　機器一覧表	SCALE A2 - A3 -	

冷媒管サイズ	
記号	冷媒管
Ⓐ	（9.5φ15.9φ）
Ⓑ	（9.5φ19.1φ）
Ⓒ	（9.5φ22.2φ）
Ⓓ	（12.7φ28.6φ）
Ⓔ	（15.9φ28.6φ）
Ⓕ	（19.1φ31.8φ）
Ⓖ	（19.1φ38.1φ）
Ⓗ	（6.4φ12.7φ）

CHECK	DRAWING	工事名 加東市滝野庁舎空調設備改修工事
DATE	H 26・11	SHEET No. M - 03
図面名	1階平面図（冷暖房設備工事）	SCALE A2 1:100 A3 -

冷媒管撤去
冷媒管撤去
撤去
撤去
NO SCALE
CHECK
DRAWING
工事名
加東市滝野庁舎空調設備改修工事
図面名
冷暖房設備工事　撤去系統図
DATE
H 26・11
SCALE
A2 -
A3 -
SHEET No.
M - 05

撤去
1階 平面図 1/100
CHECK
DRAWING
工事名
加東市滝野庁舎空調設備改修工事
DATE
H 26・11
SHEET No.
M - 06
図面名
冷暖房設備 撤去平面図
SCALE
A2 -
A3 -